1959年1月31日第3種郵便物認可

週刊 うたごえ新聞

1／1・8
（1996年）
NO. 1558

THE SINGING VOICE OF JAPAN（UTAGOE）
日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169 東京都新宿区大久保2－16－36
☎03（3209）0638 FAX03（3200）0105
振替口座 00120－6－5631 毎週月曜日発行
1部154円・税込（〒40円）・月615円・税込（〒160円）

1996年 迎春

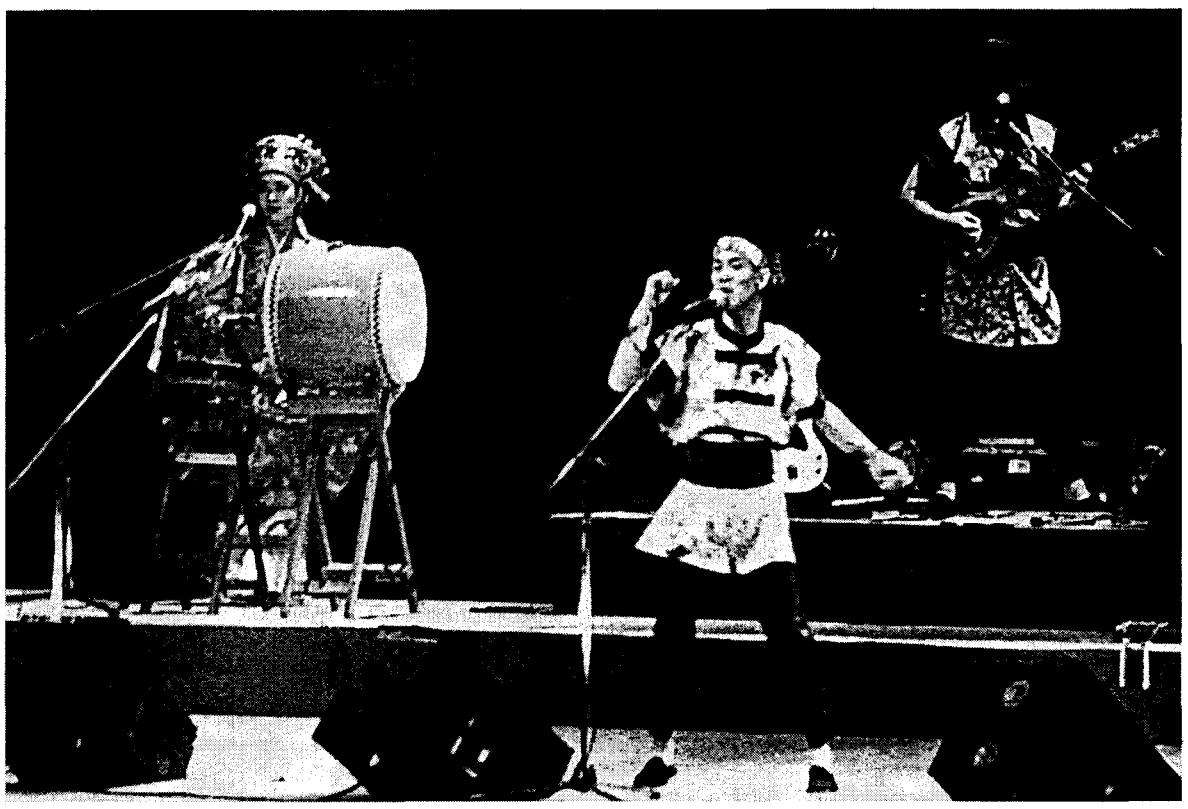
みちのくの夢・風

▶鹿踊（イーハトーブコンサートin盛岡で上演）

'96日本のうたごえ祭典〝イーハトーブコンサートin盛岡〟（9月21～23日）へ。みちのくの特色をいかした祭典を、と自然と郷土芸能の豊富なこの地。今、地元を中心に準備が始まっている。「鹿踊」は鹿の習性を写実的に取り入れた部分が多く躍動的な野生美が強調されている。浄土教の普及を志す空也上人が衆生済度のため、深山の小庵に籠って勤行三昧の日々、小庵の囲りに来て遊ぶ鹿の群れがあった。そのうち猟師に撃ち殺された鹿の弔い供養のため踊り始めた等の説がある。

新年号目次

幹事長新春放談―いのち輝く21世紀へ 2面◆若者はもう黙っていない！ 薬害エイズ訴訟を聞う
新春の話題 三多摩青年合唱団他 ベトナム公演（8月）／近藤克次VS祭衆〝弾流〟 2月 東京／
川田龍平君と音楽 3面◆新春インタビュー りんけんバンド 照屋林賢氏に聞く 6、7面
東京の若い先生たち〝元気いっぱく〟で〈ぞう〉東京 2月／魅惑の響き オフィチウム 5面◆
（連載）「ミュージック・トゥデイ」（日下部吉彦）／「芸能マンスリー」（伊藤強）／まんが（伊東章夫）「となりの河童さん」／「空を見てますか」（池辺晋一郎） 他◆
96イーハトーブコンサート〝人〟沢恩氏／51年目の新春・宮本透 日本国憲法と 10面◆ ルポ 沖縄 平和の島へサバニ漕ぐ 12面



新春インタビュー

りんけんバンド 照屋林賢氏に聞く

南の風熱く うたごえにのせて（基地NO.！）

ふめだい眼

みちのく、広々とした原野に飛雄する鹿。豊かな自然を背に野性味あふれる鹿踊。南からはたくましい闘いの息吹きが歌と踊りに乗せて聞こえてくる。北の風と南の風が新春の便りを告げる1996年の年明け。

☆ ★ ☆

今世紀もあと5年。21世紀、人間はさまざまなものを発明した。それらはすべて人間の暮らしを豊かにするためのものだったはずだが、人間は破滅への発明もしてしまった。

「…科学が独走するとろくなことはありません。そのことはどなたもよくごぞんじです。科学がはしゃぎすぎるのをだれかがいましめなければなりません。賢治のなかでその役目をはたしたのは宗教者としての部分でした。この関係は逆にしても成り立ちます。宗教だけがこりかたまると独善の権化…」このふたつを調和させる中間に賢治は文学を置き、絵画も心の糧に置いていた。

☆ ★ ☆

これには井上ひさし著「宮沢賢治に聞く」の「はじめに 賢治は人間の手本である」の一文。さしき童子に身を変えた賢治と語り合う、として実にユーモラスに、井上ひさしの賢治像が描かれていて興味深い。

☆ ★ ☆

自然の恵みを様々な角度から見つめ、育くむ目を。そこに吹く風を心身で感じ、生きる力を。今年もそう発信し続けたい。（純）